

## 丹波縄文の森塾 活動報告



令和6年5月18日（土） 晴

### 開塾式



### 田植え体験



### 昼食



### 里山遊び



里山の自然にふれ、自然体験にチャレンジする丹波縄文の森塾がはじまりました。丹波篠山市、丹波市の小学生3年生から6年生約30人が丹波の森公苑に集合しました。仲間と共に「分かち合う心」「相手を思いやる心」を大切にしながら、縄文の森塾で様々な体験を通して多くを学んでほしいと思います。

第1回目の体験は、名札づくり、田植え、里山遊びでした。名札づくりでは、木材を輪切りにして表面をみがき、ニス塗りされた木片に、自分で名前やイラストを描いてオリジナル名札を作りました。



続いて新しく作られた田んぼでの田植え体験。まず杉本指導員に田植えの仕方を教えていただき、班ごとにイネの苗を手で植えていきました。はじめて体験する人も、以前に体験したことがある人も、田んぼのぬかるみに足をとられながらも、楽しみながら田植えができました。

きょうの昼食はカレーライスとゼリー。調理担当のサポーターに朝から準備していただいたカレー。感謝していただきました。とってもおいしくて、おかわりする人もたくさんいました。

午後は濱畑指導員とともに里山でのゲームをみんなで楽しみました。ジャンケンゲーム、色々なものにタッチするゲーム、班で列を作って遊ぶゲームなど、どれも盛り上がりつつの間にか時間が過ぎていました。

サポーターのご厚意でおみやげにカブトムシの幼虫をいただきました。ペットボトルを活用して作られた手作りの容器にカブトムシの幼虫が入っています。成虫になるのが楽しみです。成虫になるまで観察しながら大切に育ててください。

